



森永製菓株式会社
<http://morinaga.co.jp>



“おいしく、たのしく、すこやかに”

証券コード 2201

森永製菓株式会社
第166期第2四半期
株主通信
2013年4月1日～2013年9月30日



代表取締役会長 森永 剛太



代表取締役社長 新井 徹

代表取締役会長

森永 剛太 もりなが ごうた

経 歴
 1962年 森永製菓株式会社入社
 1977年 株式会社森永キャンデーストア入社
 1983年 森永製菓株式会社取締役就任
 1986年 経理部長委嘱
 1988年 常務取締役就任
 食品事業本部長委嘱
 1990年 鶴見工場長委嘱
 1995年 菓子事業本部長委嘱
 1997年 代表取締役社長就任
 2006年 代表取締役会長就任 (現在に至る)

代表取締役社長

新井 徹 あらい とおる

経 歴
 1973年 森永製菓株式会社入社
 1998年 人材開発部長就任
 2001年 グループ事業企画部長就任
 2002年 株式会社エンゼルフードシステムズ 代表取締役社長就任
 2005年 森永製菓株式会社理事・広報・IR部長就任
 2008年 取締役就任 広報・IR部長兼広告部長委嘱
 2009年 経営企画室長委嘱
 2012年 常務取締役就任 海外事業部管掌
 2013年 代表取締役社長就任 (現在に至る)



代表取締役社長 新井 徹

■ 当第2四半期(以下上半期)を振り返って

菓子・食品業界を取り巻く事業環境は引き続き厳しい状況が続きましたが、中期経営計画の2年目に入った上半期は、引き続きその基本方針に沿って、「新商品開発体制の強化」、健康部門・グローバル展開を中心とした「成長分野への進出加速」、「さらなる経営効率化の推進」の重点課題に取り組みました。特に上半期は、成長戦略の一つである海外での事業展開について、重点エリアと位置づけている米国・中国・東南アジアの3地区それぞれに布石を打ったほか、健康分野での研究

開発においても、パッションフルーツの種子の中からアンチエイジング機能を有する成分を取り出し、独自の健康素材を開発して商品につなげるなど、将来の成長に向けて大きく前進できたと思っています。

上半期の業績については、主力の食料品製造事業の販売が伸長し、売上高は813億円と、前年同期に比べ7%の増収となりました。損益においては、売上原価率の上昇はあったものの、増収効果や、広告宣伝費の効率的な投入によりコスト低減が図れたことなどにより、営業利益は前年同期比150%増の20億円、経常利益は同110%増の23億円、四半期純利益は同127%増の12億円と、大幅な増益を達成することができました。商品別では、1月より販売を開始した「プリングルズ」が上半期の業績にプラスの影響をもたらしているほか、「ハイチュウ」、「ミルクココア」、「チョコモナカジャンボ」、「ウイダー inゼリー」が好調に推移し、売上増に貢献しました。

ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

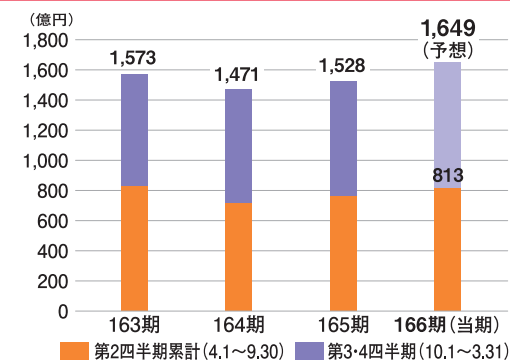
当社は、日本にまだ和菓子しかなかった明治32(1899)年に、西洋菓子の技術を習得した創業者・森永太郎が、帰国後に菓子作りを始めたことが原点となっています。以来、創意工夫を凝らしながら、日本人の味覚に合う西洋菓子づくりのパイオニアとして、お客様に喜んでいただける商品を創り続けてまいりました。

また、大正、昭和、平成とそれぞれの時代のお客様の嗜好に合わせて改良を重ねてきた森永製菓を代表する商品「森永ミルクキャラメル」

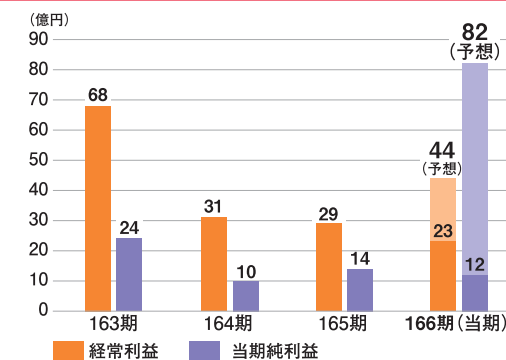
は今年、発売100周年を迎えるに至りました。これはひとえにみなさまのご愛顧のおかげであると感謝しております。

当社の使命は、創業以来のパイオニアスピリット溢れる企業活動を通じて、お客様に「価値と感動」を提供し、世界の人々の豊かで安全な食生活の実現と健康の増進に貢献することにあります。今後も、基本理念「おいしく、たのしく、すこやかに」を経営活動の軸に据えて、新たな挑戦を続けてまいります。株主のみなさまにおかれましては、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

売上高



経常利益と当期純利益



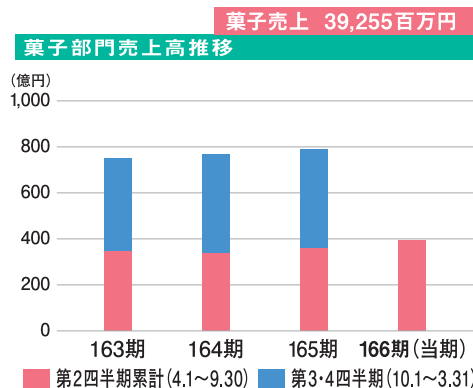
●セグメントの状況

	売上高(百万円)	前年同期比	構成比	セグメント利益(百万円)	前年同期比較(百万円)
食 料 品 製 造	76,399	107.6%	94.0%	1,694	1,208
食 料 卸 売	3,153	95.1%	3.9%	131	26
不動産及びサービス	1,457	97.5%	1.8%	399	△76
そ の 他	296	105.5%	0.3%	96	8

●食料品製造事業について

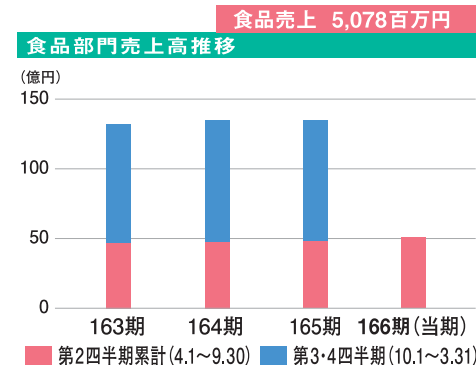
菓子部門

主カブランドの「ハイチュウ」は定番品や袋タイプの商品が伸長したことにより好調に推移し、「ダース」はコンビネーション商品が好調に推移し前年同期実績を上回りました。発売100周年を迎えた「ミルクキャラメル」は小箱タイプが好調に推移したものの袋タイプが苦戦して「ミルクキャラメル」全体では前年同期実績を下回り、「森永ビスケット」「チョコボール」「小枝」「おととと」は前年同期実績を下回りました。主カブランド全体で前年同期実績を下回りましたが、1月より販売を開始した「プリングルズ」の売上が加わったこともあり、菓子部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。



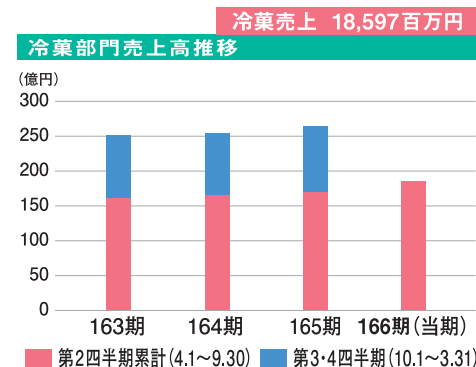
食品部門

主カブランドの「ミルクココア」はテレビ番組での健康効果の訴求もあり前年同期実績を上回り、「ケーキミックス」グループも前年同期実績を上回りました。また、熱中症対策をキーワードに夏場の飲用シーンを広げた「甘酒」も好調に推移し、食品部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。



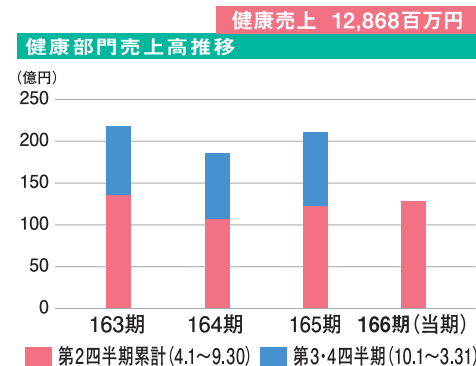
冷菓部門

主カブランドの「チョコモナカジャンボ」が引き続き好調に推移し、「バニラモナカジャンボ」も大きく伸長しました。また「サンデーカップ」やマルチパック商品も好調に推移したことで、冷菓部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。



健康部門

主カブランドの「ウイダー inゼリー」が夏場限定で発売した「ウイダーinゼリー エネルギーインレモン」が好調に推移したことやテレビ広告の効果もあり前年同期実績を上回りました。また、「天使の健康」シリーズの通販事業も「おいしいコラーゲンドリンク」が前年同期実績を上回ったことで、健康部門全体の売上高は前年同期実績を上回りました。



海外重点エリアで、成長戦略が大きく前進

当社の成長戦略の柱となる海外重点エリアの米国・中国・東南アジア。
ここでは、当中間期に大きな進捗のあったこの3地区での展開を紹介します。

〈米国〉

本年12月、米国ノースカロライナ州にハイチュウの生産会社を設立します。これにより、これまでの輸入による販売から、現地生産へと大きく舵を切ります。8万平米を超える工場用地を購入し、来年初めに着工、2015年中旬には生産開始を予定しています。



〈中国〉

本年6月、中国の卸売事業会社 Shanghai MG International社と総販売代理店契約を締結しました。中国市場で卸売業や都市開発など複数の事業展開を行っている

Capital Group社の子会社である同社は、中国市場全土に強力な販売ネットワークを有しており、これにより、東部地区が中心の現在の販売地域を、徐々に華南地区・全土へと拡大していきます。



〈東南アジア〉

本年10月にインドネシアに合弁会社 PT. Morinaga Kino Indonesiaを設立しました。新会社は、合弁パートナーから引き継いだ現地でのブランド、流通網、ビジネスノウハウと、森永のブランドと技術等とを活用し、早期の事業拡大を図ります。2014年には、ハイチュウ・キャラメルの現地販売を予定しています。

当社独自の健康素材「Passienol™ (パセノール™)」を開発

当社では2006年から健康機能素材開発をテーマに、植物の持つアンチエイジング機能を題材に研究を重ねてきました。2010年にはパッションフルーツの種子から抽出されたエキスに健康・美容面での効果があることを解明し、2012年には、そのパッションフルーツの種子から抽出したエキスを使った森永製菓独自の健康素材「パセノール™」の開発に成功しました。

細胞実験や臨床試験を通して、「パセノール™」には、血管の拡張作用による手足の冷え・肩こりの改善、コラーゲンの産生促進による肌荒れ予防や美白効果、自律神経機能の改善による疲労感の緩和など、さまざまな効果が確認されており、本年5月開催の「第12回 国際バイオテクノロジー展／技術会議」や「第13回 FFC国際会議」をはじめとした展示会や学会でも発表させていただきました。

そして本年6月には、「パセノール™」を配合した健康美容飲料『ときめく果実酢ドリンク』を、通販事業「天使の健康シリーズ」より発売しています。当社では今後も「パセノール™」の機能性研究や応用研究を推進し、よりよい商品の開発を進めてまいります。



2013年6月発売

チョコレートの話題がマスコミで取り上げられました。



『ダースピクセルアート』
「ダース」の粒の形状を活かし、制作する過程を動画配信しました。

2013年の夏は、「ダース」をはじめとした、チョコレートのさまざまな取り組みを行いました。新しいコミュニケーション活動で、商品との接点を増やし、売上を伸ばしました。



『GROS(白いグロス)』
インターネット上で話題になった架空の「ダース」を即商品化し、さらに話題を呼びました。中には「白いダース」が12個(144粒)入っています。



『テレビの健康番組』
テレビの健康番組で、チョコレート(カカオ)が持つ力がクローズアップされました。

好調「ハイチュウ」。さらなる飛躍へ。

ソフトキャンディのトップブランド「ハイチュウ」が、2013年2月、従来の中と外の層を逆転させ、果汁も2倍にした大リニューアルを行いました。新しい「ハイチュウ」は最初の噛み出しからフルーツ感が広がると、発売と同時に大好評を得ています。好調「ハイチュウ」のこれらにご注目ください。



リニューアルした「ハイチュウ」

従来の「ハイチュウ」

夏こそ甘酒訴求で、売上好調

昨年以上の暑い夏となった2013年は熱中症が深刻な健康課題となるなか、当社は熱中症対策として「水分・塩分・糖分」が補給できる「甘酒」の良さをPRしました。

また江戸時代には、うなぎに代わる夏バテ対策の飲み物だったことを受け、夏こそ甘酒訴求を店頭で展開。さらに甘酒横丁の「双葉」と企画した「土用の丑の日に甘酒」を訴求する『ふるまい冷やし甘酒』イベントには多くの方が訪れ、その模様はマスコミ数社に取り上げられました。

当社のさまざまな情報発信が甘酒全体の需要を喚起し、今年も、前年同期比129%と大きく売上を伸ばしました。



江戸時代の甘酒売り



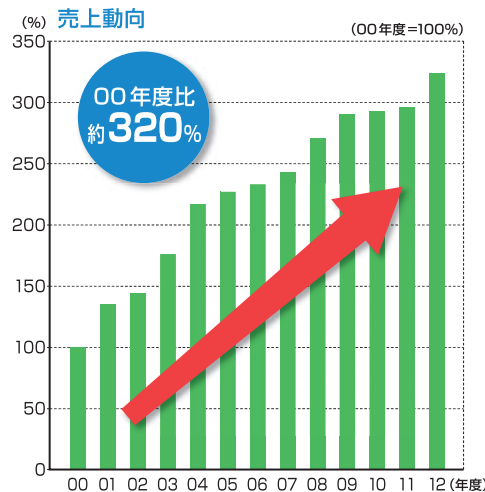
ふるまい冷やし甘酒 「双葉」(東京・日本橋人形町)にて

「チョコモナカジャンボ」12年連続売上伸長、年間1億5千万個突破!

発売40年を超えたロングセラー商品の「チョコモナカジャンボ」は、年間1億5千万個の売上を突破しました。チョコもモナカもバリバリのおいしさをお客様にご提供するため、製造から物流、お取引先様での店頭取扱いに至るまで、アイスクリームでありながら鮮度を重視した取り組みを行っています。お客様のご期待にお応えし、12年連続で売上を伸ばしています。



全国展開後、好調の「バニラモナカジャンボ」



ウイダーがサポートするこの冬期待のアスリート

アスリートが最高のパフォーマンスを発揮できるよう、ウイダーはコンディショニングや栄養指導、トレーニングなどトータル的にサポートを行っています。2014年ソチ五輪でのさらなるステージアップを目指す、フィギュアスケートの浅田真央選手。そして今年6月、サポート選手に加わった女子スキージャンプの高梨沙羅選手も、今シーズンは絶好調です! 両選手の五輪でのメダル獲得を目指し、全力でサポートしていきます。



浅田真央選手



高梨沙羅選手

日本女子プロゴルフトーナメント「樋口久子 森永製菓ウイダーレディス2013」開催

今年で3年目となる「樋口久子 森永製菓ウイダーレディス」が11月1日から3日にかけて森永高滝カントリーにて開催されました。天候にも恵まれ、昨年よりも1,000名以上も多くの方にご来場いただき、また今年はお子様用のスタンプラリーを設け、たくさんのお子どもたちに楽しんでもらうことができました。トーナメントは2日目から首位を守ったイ・ボミ選手が優勝で幕を閉じました。



左から宮里選手、木戸選手



表彰式の様子(中央が優勝したイ・ボミ選手、右が樋口大会名誉会長、左が新井大会会長)



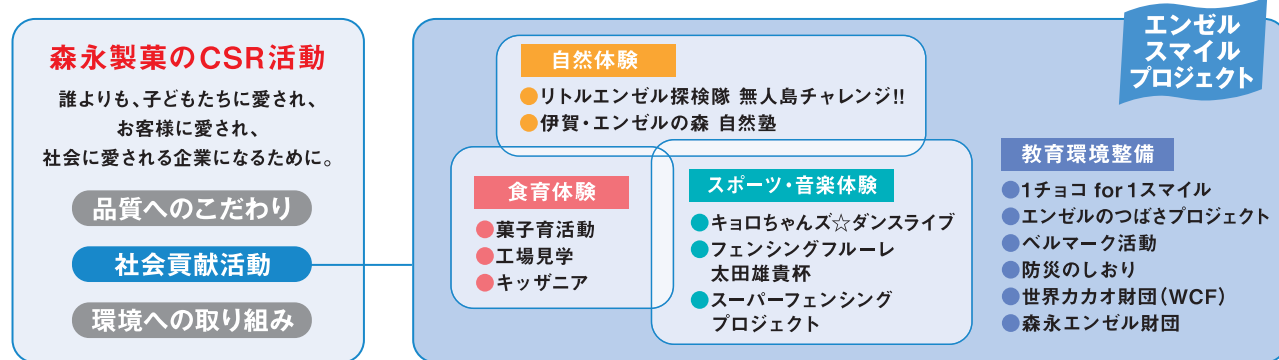
ギャラリープラザ



スタンプラリー

社会貢献活動の取り組み

「自然体験」「食育体験」「スポーツ・音楽体験」「教育環境整備」の4つの切り口で取り組んでいます。



「第14回 森永リトルエンゼル探検隊 無人島チャレンジ!!」実施

7月21～26日、当社と森永乳業との共催で「第14回 森永リトルエンゼル探検隊 無人島チャレンジ!!」を奄美大島沖の無人島・江仁屋離島で実施しました。全国から集まった30名の探検隊員が電気もガスも水道も無い無人島での生活を体験しました。



みんなで協力すれば、大きな石も運べます



ロッククライミングで挑戦の先にある達成感を体験しました



自分たちで釣った魚で鍋料理をしました。「食べる」ことで命について考えます

「キョロちゃんズ☆ダンスライブ2013」大盛況

7月24日～8月29日、「キョロちゃんズ☆ダンスライブ2013」が全国18カ所全27公演で開催され、キャンペーンに当選した約45,000名のお客様が招待されました。

子どもたちに人気のダンスを取り入れた楽しい公演は、各会場で大盛況でした。

主役のキョロちゃんズが「クエクエおどり」をノリノリで披露。子どもたちと「キョロちゃん」の息もぴったり!



「森永製菓 フェンシングフルーレ 太田雄貴杯 powered by ウイダー inゼリー」開催

10月20日池袋サンシャインシティにて太田雄貴社員が企画・プロデュースする「第5回 森永製菓 フェンシングフルーレ 太田雄貴杯 powered by ウイダー inゼリー」が開催されました。

当日は小学生フェンサーの白熱した試合が繰り広げられ、観客の視線を釘付けにしていました。また、ゲストとして2020年に向けて、ともに闘った東京都知事の猪瀬直樹氏も駆けつけ、トークショーが繰り広げられ、大いに盛り上がったイベントとなりました。



太田社員には2020年への活動に対して、社長賞特別賞が贈られました

菓子育イベント「デコデコエンゼルパイ」を開催

当社は『菓子育』として、お菓子の正しい食べ方・適量・栄養などの知識やおやつづくりの楽しさを紹介しています。その活動のひとつとして、「デコデコエンゼルパイ」を体験してもらいました。“お菓子をとおした心のふれあい”をテーマにこれからも活動を進めていきます。



チョコレートペンやアラザンを使ってメッセージやイラストなどをデコレーション

子どもたちの心がこもった「世界に一つだけのデコデコエンゼルパイ」



四半期貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

	当第2四半期末 H25.9.30	前期末 H25.3.31	増 減
(資産の部)			
流動資産	40,906	50,375	△9,469
現金及び預金	3,257	10,377	△7,120
受取手形及び売掛金	17,094	20,176	△3,082
商品及び製品	8,064	8,200	△136
仕掛品	526	465	61
原材料及び貯蔵品	4,793	4,086	707
繰延税金資産	2,216	1,940	276
その他	4,968	5,144	△176
貸倒引当金	△14	△16	2
固定資産	94,477	90,779	3,698
有形固定資産	77,257	75,543	1,714
無形固定資産	1,441	1,491	△50
投資その他の資産	15,778	13,744	2,034
資産合計	135,383	141,154	△5,771

Point 1

【資産】

主な要因は、流動資産の現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少と固定資産の機械装置及び運搬具が増加したことなどによるものです。

Point 2

【負債】

主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金、短期借入金や工事に関する債務が減少したことなどによるものです。

(単位:百万円)

	当第2四半期末 H25.9.30	前期末 H25.3.31	増 減
(負債の部)			
流動負債	39,863	46,620	△6,757
支払手形及び買掛金	15,492	17,121	△1,629
短期借入金	1,002	4,763	△3,761
リース債務	357	358	△1
未払金	8,698	8,814	△116
未払法人税等	1,326	982	344
賞与引当金	2,098	1,792	306
その他	10,888	12,788	△1,900
固定負債	41,770	41,553	217
負債合計	81,634	88,173	△6,539
(純資産の部)			
株主資本	48,806	49,117	△311
資本金	18,612	18,612	—
資本剰余金	17,186	17,186	—
利益剰余金	15,536	15,840	△304
自己株式	△2,529	△2,522	△7
その他の包括利益累計額	4,455	3,457	998
少数株主持分	487	405	82
純資産合計	53,749	52,981	768
負債、純資産合計	135,383	141,154	△5,771

四半期損益計算書(連結)

(単位:百万円)

	当第2四半期 H25.4.1~ H25.9.30	前第2四半期 H24.4.1~ H24.9.30	増 減
売上高	81,306	76,098	5,208
売上原価	42,005	38,636	3,369
売上総利益	39,301	37,462	1,839
販売費及び一般管理費	37,208	36,625	583
営業利益	2,092	837	1,255
営業外収益	534	555	△21
営業外費用	266	268	△2
経常利益	2,360	1,124	1,236
特別利益	332	287	45
特別損失	614	386	228
税金等調整前四半期純利益	2,078	1,024	1,054
法人税等合計	810	547	263
少数株主損益調整前四半期純利益	1,268	477	791
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10	△76	86
四半期純利益	1,258	553	705

Point 3

【損益計算書】

売上高は主力の食料品製造事業が伸長したことで増収。損益は売上高の増収や、より効果的な広告宣伝費投入によるコスト低減等があり営業利益、経常利益、四半期純利益ともに増益。

四半期キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

	当第2四半期 H25.4.1~ H25.9.30	前第2四半期 H24.4.1~ H24.9.30	増 減
営業活動による キャッシュ・フロー	5,313	4,016	1,297
投資活動による キャッシュ・フロー	△6,106	378	△6,484
財務活動による キャッシュ・フロー	△5,568	△2,416	△3,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	8	33
現金及び現金同等物の増減額	△6,320	1,986	△8,306
現金及び現金同等物の期首残高	9,377	4,802	4,575
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額	—	896	△896
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,057	7,684	△4,627

Point 4

【キャッシュ・フロー】

営業活動: 主たる要因は、売上債権の減少によるものです。
投資活動: 主な内容は、有形固定資産の取得による支出です。
財務活動: 主に長期借入金の返済による支出、配当金の支払いによるものです。

会社の概要(個別) (H25.9.30現在)

商号 森永製菓株式会社
MORINAGA&CO.,LTD.

創業 明治32(1899)年8月15日
森永西洋菓子製造所 創業

会社設立 明治43(1910)年2月

資本金 186億1千2百万円

従業員数 連結:2,576名
単独:1,448名



東京都港区・森永製菓本社屋

グループ会社 (H25.9.30現在)

連結子会社

食料品製造

- 森永スナック食品(株) 千葉県野田市
- 高崎森永(株) 群馬県高崎市
- 森永甲府フーズ(株) 山梨県甲府市
- 森永エンゼルデザート(株) 神奈川県大和市
- 森永デザート(株) 佐賀県鳥栖市
- (株)アントステラ 東京都渋谷区
- 台湾森永製菓股份有限公司 台湾台北市
- 上海森永食品有限公司 中国上海市
- 森永食品(浙江)有限公司 中国浙江省
- 米国森永製菓(株) 米国カリフォルニア州

食料卸売及び飲食店

- 森永商事(株) 神奈川県横浜市
- 森永ビジネスパートナー(株) 東京都港区

不動産及びサービス

- 森永高滝カントリー(株) 千葉県市原市
- 森永エンゼルカントリー(株) 千葉県富津市

その他

- (株)森永生科学研究所 神奈川県横浜市
- (株)森永ファイナンス 東京都港区

持分法適用非連結子会社

- 森永リスクコンサルティング(株) 東京都港区

※平成25年10月 インドネシア共和国ジャカルタ市にモリナガ キノ インドネシアを設立
※平成25年12月 米国ノースカロライナ州に森永アメリカフーズを設立予定

グループ会社紹介

株式会社森永生科学研究所

(株)森永生科学研究所は、森永製菓グループのビジョン「おいしく、たのしく、すこやかに」の「すこやかさを科学する」ミッションを担っています。

現在、「創業支援」「食の安心・安全」という分野で事業を行っており、代表的な製品としては、アレルギーの原因といわれる特定原材料を測定するキットなどを企業向けに販売しております。それらの製品は、日本や米国でも公的な分析法として認められています。

2013年4月より森永製菓の食品分析部門を統合し、新たな事業として展開を図っております。

また、グローバルな市場で事業を展開すべく、2013年7月、タイのカセサート大学との間で合併会社「森永バイオサイエンス(タイランド)株式会社」を設立しました。準備期間を経て、2013年12月より製品の製造をスタートさせる予定です。

今後も独特の技術をベースにして、日本のみならずグローバル市場にて事業展開を進めてまいります。



カセサート大学との共同事業契約調印式。
写真左:小路社長、右:カセサート大学総長



概要

沿革: 1980年10月設立

事業内容: 実験動物用測定キット、特定原材料用測定キットなどの酵素免疫測定キットの研究開発・製造・販売。食品の受託分析。

従業員数: 65名(男 38名、女 27名)



酵素免疫測定キット

取締役・監査役・執行役員 (H25.10.1現在)

取締 役

代表取締役会長	森 永 剛 太	
代表取締役社長	新 井 徹	監査部、ヘルスケア事業部、海外事業部
専務取締役	佐 藤 順 一	経営戦略部、関連事業部、コーポレートコミュニケーション部
専務取締役	野 田 修	生産本部
常務取締役	白 川 年 男	人事総務部、お客様サービスセンター、品質保証部
取締 役	平久江 卓	菓子事業本部長、食品事業本部長、ウイダー事業本部、製品計画部、物流部
取締 役	太 田 栄二郎	菓子食品営業部、冷菓事業本部
取締 役	内 山 進 一	経理部長、(株)森永ファイナンス代表取締役社長
取締 役	伊 藤 建比古	研究所長

監 査 役

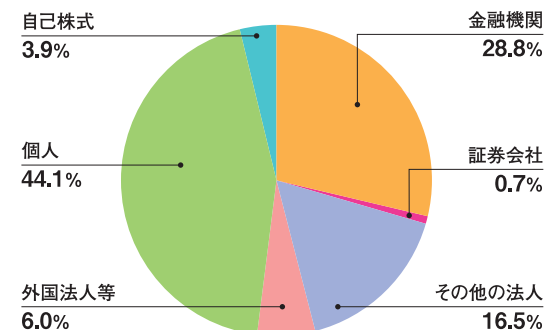
常勤監査役	須 田 敏 孝
常勤監査役	伊 藤 直 紀
監 査 役	太 田 東 平
監 査 役	高 橋 正 宏

執行役員

上席執行役員	杉 浦 俊 明	コーポレートコミュニケーション部長
上席執行役員	茶 谷 紀 夫	生産本部資材部長
上席執行役員	西 宮 正	経営戦略部長
上席執行役員	平 野 清 巳	生産本部長
上席執行役員	津久井 慶 太	研究所開発企画部長
執行役員	福 永 俊 朗	中京工場長
執行役員	松 崎 勲	ウイダー事業本部長
執行役員	山 下 充 洋	海外事業部長、上海森永食品有限公司董事長、森永食品(浙江)有限公司董事長
執行役員	黒 田 和 彦	品質保証部長
執行役員	小 川 耕 三	生産本部生産統轄部長
執行役員	徳 山 義 家	人事総務部長
執行役員	内 堀 公 和	冷菓事業本部長

株式の総数 (H25.9.30現在)

● 所有者別持株比率



- 発行可能株式総数 — 1,000,000,000株
- 発行済株式の総数 — 270,948,848株
- 株主数 — 38,414名

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

株主確定日 ● 定時株主総会 3月31日
● 期末配当金 3月31日

定時株主総会 6月

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話(フリーダイヤル) ☎ 0120-232-711

公 告 方 法 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載します。

公 告 掲 載 URL http://www.morinaga.co.jp/company/ir_koukoku.html

証 券 コ ー ド 2201

株式に関するお手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社はキャンペーン情報や新商品の情報を掲載したメールマガジン『森永ニュース』を月一回お届けしています。
配信をご希望の方は、森永製菓ホームページにてご登録ください。
<http://morinaga.co.jp>